

製品名: CALL3 ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab07857

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	16kDa

抗原情報

遺伝子名	CALML3
別名	
遺伝子 ID	810.0
SwissProt ID	P27482
免疫原	ヒトタンパク質の一部領域から得られた合成ペプチド

背景

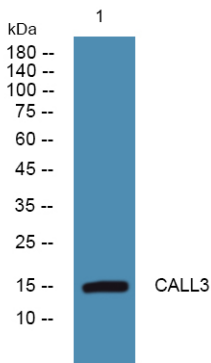
機能: 本物のカルモジュリンと類似している可能性があり、異なる親和性で細胞基質に結合し、カルモジュリンと実際に競合する可能性があります。誘導: ヒト β 型形質転換成長因子によって。その他: 4つのカルシウムイオンに結合します。類似性: カルモジュリン

ファミリーに属します。類似性: 4つのEFハンドドメインを含みます。組織特異性: 正常な乳腺、前立腺、子宮頸部、および表皮組織で発現します。形質転換細胞では大幅に減少するか、検出されない。機能: 真正カルモジュリンと類似している可能性があり、異なる親和性で細胞基質に結合することでカルモジュリンと競合する可能性がある。誘導: ヒト β 型形質転換成長因子によって誘導される。その他: 4つのカルシウムイオンに結合する。類似性: カルモジュリンファミリーに属する。類似性: 4つのEFハンドドメインを含む。組織特異性: 正常な乳腺、前立腺、子宮頸部、および表皮組織で発現する。形質転換細胞では大幅に減少するか、検出されない。

研究分野

カルシウム、ホスファチジルイノシトールシグナル伝達系、卵母細胞減数分裂、血管平滑筋収縮、長期増強、神経栄養因子、嗅覚伝達、インスリン受容体、GnRH、メラニン形成、アルツハイマー病、神経膠腫、

画像データ



PC12 細胞溶解液のウェスタンブロット分析、CALL3 ウサギポリクローナル抗体を1:1000に希釈し、4°で一晩